

# 高齢者生きがい就労事業の 事業者と参加者の皆さまと

高齢者生きがい就労事業とは

退職後の「無理なく働きたい」「家にいるより働きに出たい」というニーズに対応し、軽作業などの自分に合った仕事内容で働くことができる就労事業



令和7年11月21日、高齢者生きがい就労事業を運営する事業者の皆さまと高齢者の働くニーズや実態などについて意見交換を図り、その後、作業場を視察して、実際に軽作業を体験しました。参加者の皆さまからは事業所での生の声をいただき、高齢者の生きがいや社会参加を促進するための貴重なご意見をお聴きしました。

## 高齢者生きがい就労事業に関する ニーズの把握

### 【事業者からのご意見①】

高齢者生きがい就労事業の参加者がどのような就労をしたいかなど、参加者のニーズを把握し、就労提供先の発掘を進める必要がある。

### 【これからの対応について】

事業の実施にあたっては、参加者のニーズを聞き取り、受託者とも連携しながら就労提供先の開拓を進めてきました。また、企業への営業活動も粘り強く続け、提供量も少しずつ増加しています。今後も高齢者の多様な就労ニーズに応えられるよう、産業分野に幅広く働きかけていくことで、就労メニューの確保に努めます。

## 福祉と経済分野の連携

### 【事業者からのご意見②】

企業が高齢者生きがい就労事業と協力することで、企業の人手不足の解消や生産性向上、さらには社会貢献によるブランディングの向上に期待できるのではないか。

### 【これからの対応について】

多くの企業で人手不足が課題となる中、高齢者の労働力の積極的な活用は、その課題解消に貢献する有効なアプローチの一つと考えています。雇用分野においては、これまでからもハローワークやシルバー人材センターが主体となって、積極的に高齢者の労働力を企業へつなげてきたところです。高齢者の生きがい就労（いわゆる就労的活動）による労働力についても、市の福祉と経済の部局で連携を図り、市内企業における活用の可能性について研究していきます。



## 他の福祉的な就労事業との連携について

### 【事業者からのご意見③】

今後、市内で福祉的な就労を行う他の作業所などとも連携を深めていきたい。

### 【これからの対応について】

市内には、障害のある人の就労支援や軽作業など福祉的な就労を行っている事業（作業）所で、高齢者生きがい就労と類似した作業を行っているところも多くあります。それらの事業（作業）所が抱える課題なども伺いながら、連携方法等について検討していきます。



## 高齢者生きがい就労事業の環境が今よりもっと良くなれば…

### 【参加者からのご意見①】

高齢者生きがい就労事業所へのアクセスを良くしてほしい。

### 【現在の対応について】

高齢者生きがい就労事業所（はたらくラボ）は、市内で久々知と立花の2か所のみでしたが、バスの本数や時刻、またお身体状況により通いづらいという声が多く寄せられていたため、令和7年度から大物に新たな拠点を増設し、現在は市内3か所を開設しています。また、市内の介護事業所等2か所でも地域の拠点として就労的活動を行っています。今後も、介護事業所等と連携し、地域拠点を増やすことで、より身近な地域で生きがいを持った就労ができるよう取り組んでいきます。

### 【参加者からのご意見②】

高齢者生きがい就労事業所の施設そのものが古いため、設備面の改修をお願いしたい。

### 【現在の対応について】

施設等の改修にあたっては、修繕が必要な箇所や設備を優先的に対応しています。今後も適宜改修を進め、働きやすい環境を整えていきます。



(※) 参加者の皆さまのご意見や取組中（または取組予定）の事業等は、代表して一部のみを掲載しています。この他にいただいたご意見等は、尼崎市公式ホームページに掲載の車座集会の対話録をご覧ください。